

山形県立寒河江高等学校 学校だより

ぶん すい れい  
**分水嶺**



平成 29 年 9 月 27 日

第 6 号

## 充実の前期終了～ 歩みを止めず後期へ

校長 小川 秀人

前期6ヶ月が、まもなく終了する。四月に新入生を迎え、新歓行事をスタートさせて以来、三年生は執行部を中心に、多くの生徒会行事を成功に導いてくれた。多くの困難を、チームワークで乗り越えた体育祭や寒高祭などの大成功は、今なお記憶に新しい。部活動にあっても、日々の活動に真摯に取り組み、過去の先輩に負けない成績を重ねてくれたと思う。むろん、思い通りに結果が出ないこともあっただろうが、くさることなく努力を重ねてくれたことに、心から敬意を表する。寒高祭の準備に追われながらも日々積み重ねた三年生の夏の頑張りは、九月の全国模試の結果にも表れてきた。この歩みを止めることなく、秋から冬へと継続していてもらいたい。

生徒会執行部も二年生、一年生に引き継がれ、後期の新たな活動がスタートする。県の新人大会もすぐそこだ。特段これまでと違ったことを求めようとは思わないが、自分たちなりの工夫を凝らしながら、三年生やその先輩たちがつないできた伝統に、新たな取り組みを重ねていてもらいたい。

後期のスタートにあたり、私の敬愛するジャーナリスト・故「むのたけじ」さんの詞(ことば)をみなさんに贈ることにしよう。黄色く色づいた田んぼを眺めながら、このことばを心に刻んでもらいたいと思う。

さあ、もうすぐ十月、元気良く歩みを進めよう。

「花の出る前と後ではずいぶん違って見える。穂が実ったときと苗のときでは全く別のものに見える。けれども、むろん同じイネである。ふだん見慣れている目ほど、変化を見逃しやすい。本質の変化とは、そのようなものである。見違えるように進むのではなく、見定めがたく平凡に休みなく進むものである。人間の自己変革もそうである。飛躍の妙薬や、即効の便法などありはしない。最大の味方であり、最大の敵である自己—この自己との対話を誠実に持続するほか、何のすべがあり得ようか。」 (むの たけじ『詞集たいまつI』より)

### キャリア講演会〔パネルディスカッション〕文理別に実施

役所や企業などで中堅として活躍されている本校卒業生八人をお招きして、今月 16 日(土) 11 時から 90 分間、キャリア講演会を実施しました。一、二年生を対象として、文系は体育館、理系は講堂に別れ、それぞれ四名ずつの講師によるパネルディスカッション形式で、仕事のやりがいや大変さについて、各自の体験を踏まえながら、熱意をもってお話いただきました。講師の中には若くしてサラリーマンを辞めてご自分の会社を起業された方もおられ、バラエティに富んだお話をお聞きすることができました。

# 増川知保(2-2)日本代表へ大きな一歩

## 第13回日本カヌースプリント・Jrユース小松大会優勝

2018年の海外派遣選手二次選考会も兼ねた同大会が、9月10日に小松市木場潟カヌー競技場で行われ、ジュニア女子500mK-1・Aの категорияに出場した増川選手は、他を圧倒する力を発揮して、二位に大差をつけて優勝を飾り、来年3月に行われる三次選考会への出場権を得るとともに、世界大会出場へ大きく近づいた。愛媛で行われる国体でも、山形県を代表して素晴らしい活躍を期待したい。

### 【県新人大会結果】(6位以上)

<カヌー> 男子 K1・500m 6位 齋藤 慎太郎(1-3)

C1・500m 6位 佐々木遼太郎(1-1)

女子 K1・500m 優勝 増川 知保(2-2)

5位 五十嵐晴香(2-4)

6位 西田 美優(1-3)

K2・500m 2位 増川・五十嵐

K4・500m 優勝 寒河江高校

[増川・五十嵐・西田・春日 七虹(1-2)]

<水泳> 女子400mリレー 4位(東北大会出場権獲得)

[堀米夏帆(2-4)・倉本清楓(1-5)・林陽歩(1-4)・西長奏絵(2-1)]

<陸上競技> 個人・リレー合わせてのべ13種目に出場するも、入賞ならず。

## 西村山地区英語弁論大会 伊藤瑠南(1-4)第二位

9月8日(金)寒河江市中央公民館で行われた上記大会で、伊藤さんが一年生ながら二位に入賞し、今月27日(水)ハートフルセンターで行われる県大会への出場権を獲得した。期末テストと重なり、たいへんな日程ではあるが、県大会でのさらなる健闘を祈りたい。

## 生徒会新執行部誕生！ 立候補者全員信任

【生徒会長】 櫻井 駿(2-5)

【副会長】 鈴木 太陽(2-1) 大豆田 竜佑(2-5)

【議長】 相座 悠寿(2-5) 【副議長】 倉本 清楓(1-5)

【会計委員】 高橋 遼(2-2) 伊藤 萌(1-2)

【監査委員】 佐竹 洋夢(2-5) 後藤 桃果(1-2)

【常任委員】 茂木 幸乃(2-2) 上田 峻輔(2-4) 川崎 颯斗(2-4)

佐竹 真治(2-5) 辻 晃大(1-1) 石井 桃子(1-3)

菊地 康葉(1-3) 庄司 和太(1-5)

【書記】 嶋貫 紗笑(2-2) 木村 衣月(2-3)